

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校開放運営委託及び学校開放施設等維持管理				整理番号	787		枝番号					
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600702	連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	782				
係名					学校開放担当			上位施策名		No				
予算事業名					学校等開放		コード	81200		地域への学校開放	60			
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		54 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第44,45,47,48条							
	区内在住・在勤・在学の10名以上で構成された団体						(2) スポーツ振興法第13条							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				一般目的外使用のほか、登録団体に開放する。小中学校67校の内、25校に利用者団体協議会があり、その連合体である学校開放連合協議会に施設の利用調整、交流事業等を委託。また、学校開放に必要な備品の整備や維持管理等を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 学校施設を有効に活用しスポーツを通じ区民の体力、健康増進を図る。また、文化活動を活発にし区民の生涯学習の場を広げる。こうしたことを通じ、区民の自主活動や地域の交流の活性化を図る。							
活動指標名(式)				(1) 全体利用人数		(2) 講座開催回数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 学校開放連合協議会に委託した利用調整による利用者数 (2)						
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		人	692,842		691,900		700,000		693,482		700,000	99.1	
	活動指標(2)		講座	3		3		4		3		4	75.0	
	成果指標(1)		人	233,927		229,402		250,000		233,031		250,000	93.2	
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	45,865		41,405		50,646		43,959		45,470	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円	6,668		6,847		7,303		6,848		7,315		
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.94	3.00	1.83	3.00	1.83	3.00	1.70	3.00	1.83		3.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	17,448		16,653		16,580		15,402			16,580
		非常勤職員分		千円	8,277		8,640		8,670		8,670			8,670
	総事業費 + +		千円	71,590		66,698		75,896		68,031		70,720		
	単位あたりコスト( - )÷		円	103		96		108		98		101		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	71,590		66,698		75,896		68,031		70,720			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			学校開放に伴う光熱水費					1	式	20,954				
			維持管理費					1	式	7,028				
			学校開放事業運営委託					1	式	5,580				
			建築工事					2	校	4,137				
その他 (清掃手数料・建物管理費・旧都立永福高校開放等)							6,260							

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	99.1	活動指標(2)の17年度達成率%	75.0	17年度予算執行率%	86.8
清掃業務委託などの落差金などによる減。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	旧都立永福高校の校庭開放事業が17年度を持って終了した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開放実施校 昭和29年 小学校2校 昭和40年 小中学校50校 昭和61年 小中学校66校 平成17年 小中学校67校				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	学校施設の開放に対する要望は大きい。しかし、生徒のクラブ活動や学校行事などの活発により、その分、登録団体等目的外利用が制限されるなど団体からの不満の声は強い。				
	今後の予測	利用者登録団体は増加傾向にあり、同時に利用時間の拡大の要望が強まっている。限られた時間を効率的に活用できるよう調整が求められている。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 体育館や校庭等開放施設は有効に活用され、利用者からの期待度は高い。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 学校開放連合協議会と区との連携を深め、地域で交流事業を旺盛に展開できるよう支援をしていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 登録団体においては無料、一般目的外利用は有料扱いとしているが、教育施設の有効利用によるものでもあり、現行が適切である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 効率的運営に努めているため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 学校施設の利用調整(中学校全校と小学校2校)は区との委託契約により行い、さらには自主的に交流活動も実施している。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 利用者団体協議会が地域や登録団体に働きかけ、地域間の交流が促進できるよう支援していく。					
19年度方針	(2) 理由 連合協議会との協働を進め、効率的な運営に努める。					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		小学校校庭開放(遊びと憩いの場開放)			整理番号	788		枝番号	
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600702		連絡先電話番号	1665	
係名		学校開放担当			上位施策名				No
予算事業名		学校等開放		コード	81200		地域への学校開放	60	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 61 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 社会教育法第44,45,47,48条				
	保護者付き添いの幼児及び、児童と高齢者				(2) スポーツ振興法第13条				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 杉並区立学校の開放に関する規則				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
土・日と学校休業日及び水曜日の放課後に、小学校の校庭を開放し、保護者同伴の幼児や小学生及び高齢者に憩いの場として提供する。開放時には利用者の事故防止、遊具の貸出し・管理など開放が円滑に行われるよう指導員を配置している。				児童、高齢者等が、身近な学校の校庭を開放することで、のびのびとさらには安全で遊べるようにする。					
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 校庭開放の利用者数				(1) 開放校					
(2)				(2)					

  

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	230,578	179,790	200,000	174,709	200,000	87.4	
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	校	43	43	43	43	43	100.0	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	31,257	30,533	40,704	29,505	39,534	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円							
	(内)委託費	千円							
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.50	0.30	0.30	0.30	0.30		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,497	2,730	2,718	2,718		2,718
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	35,754	33,263	43,422	32,223	42,252		
	単位あたりコスト( - )÷	円	155	185	217	184	211		
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	35,754	33,263	43,422	32,223	42,252		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

  

17年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	学校開放指導員謝礼		1	式	28,698
	医薬品・遊具		1	式	501
	保険		1	式	306
	その他 ( )				0

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	87.4	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	72.5
		学校の改修工事や雨天等で開放中止に伴い、指導員謝礼の実績変動による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		学校の校舎建設工事により2校(方南小、高井戸小)で開放中止とするため。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	小学校の校庭開放は、遊び場確保対策の目的で実施され、平成6年度には「子ども区議会」の要望をきっかけに、それまでの土、日に加え水曜日の放課後も実施することになった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	児童団体(主にサッカー、野球)から、遊びと憩いの場事業の時間帯を団体に利用させてほしい、反面、児童団体が利用しているため、危険で個人の利用がしにくい等の意見もある。					
	今後の予測	遊びと憩いの場の事業の推進と、児童団体の利用の調整が課題である。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 親しみのある学校の校庭を使えるため、この事業の役割は大きい。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 指導員研修等を行い、時々課題を提起するとともに、指導員としての役割を再度認識してもらいことで、本事業の充実が図れる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 既存の施設の有効活用の一環としての事業であり、また、児童・高齢者等への場の提供であるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 安全確保など指導員の役割は大きく、有償の指導員の配置で実施していく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題: 今後、PTAなど地域住民との協力関係が図られるかの検討も必要になっている。					
	(3) 協働等の形態						
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 利用者にとって安全に利用できるよう、指導員の役割を引き続き発揮できるよう研修の充実等を図っていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 利用者にとってより利用しやすい事業になるよう、学校を含めて調整を図っていく。						

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校開放連合協議会補助金				整理番号	789		枝番号				
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600702	連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	784			
係名					学校開放担当		上位施策名			No			
予算事業名					学校等開放		コード	81200		地域への学校開放	60		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理								
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				学校開放連合協議会からの申請に基づき、25の利団協の調整、自主事業を実施するために必要な事務費・活動費を補助する。								
	活動指標名(式)				(1) 助成件数 (2)								
				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 学校開放連合協議会が、登録団体の自主事業を促進しさらに、自主事業を行うことによって、区民の生涯スポーツや文化活動を推進させる。									
				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 活動回数(役員会、広報委員会、総会、自主事業) (2) 自主事業参加人数									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度計画		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	1	1	1	1	1	1	1	1	100.0	
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		回	801	767	900	750	900	900	900	900	900	83.3
	成果指標(2)		人	11,587	11,121	15,000	10,111	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	72.2
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,181	1,181	1,181	1,181	931	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等		千円										
	(内)委託費		千円										
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30					0.30
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,698	2,730	2,718	2,718					2,718
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0
	総事業費 + +		千円	3,879	3,911	3,899	3,899	3,649					
	単位あたりコスト( - )÷		円	3,879,000	3,911,000	3,899,000	3,899,000	3,649,000					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	3,879	3,911	3,899	3,899	3,649						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)				
		学校開放連合協議会補助金					1	式	1,181				
		その他 ( )							0				

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

	活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	17年度予算執行率%	100.0
17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	年2回の学校開放だより、定期的な役員会の開催での情報交換等を実施。				
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	委託金のあり方の検討を内部で行っている。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開始当初から25の利団協で変更はないが、登録団体の増加、生徒のクラブ活動などの活発などにより、調整会議の運営が大変になりつつある。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	登録団体になると施設が優先利用できるなどプラス面があるが、近年、学校使用の増加により、利用困難な状況にあるとの指摘がある。			
	今後の予測	利団協やブロック間の交流がさらに活性化されると同時に、限られた利用枠を有効かつ平等に利用できるような検討が必要になっていくと思われる。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 区民の自主的なスポーツ・文化活動に対する場の提供、また、団体間の交流活動の支援等を行っている。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 連合協議会との協力、支援を強めていく。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 区民の自主的活動であるスポーツ・文化活動への側面的支援であるため。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 削減可能な取り組みは行ってきたため。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ )	協働等による成果と課題 ・年2回の学校開放だよりの発行 ・定期的な役員会開催による情報交換、課題の検討など			
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )				
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 学校利用の調整のあり方や各利団協の交流事業の活性化など役員会などでの論議を深められるよう提起していく。				
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 自主団体としての自主性を尊重しつつ、理解と合意を図っていく。				
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由 補助金のあり方の検討を行った結果である。				

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		学校プール開放			整理番号	790		枝番号				
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600702		連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	785	
係名				学校開放担当				上位施策名		No		
予算事業名				学校等開放		コード	81200		地域への学校開放		60	
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		45 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第44,45,47,48条 (2) スポーツ振興法第13条 (3) 杉並区立学校の開放に関する規則						
	区内在住・在学・在学者					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区立小中学校20校前後のプールを開放。また、一部を利団協に運営委託し、その他の開放校は運営管理・清掃を含めて業者に委託。区は、開放プールの巡回等を行い、利団協、委託業者への安全指導等を行う。		児童には水に慣れる機会を提供し、生徒や成人には体力の増強と健康維持のために場を提供する。						
活動指標名(式)			(1) 利用人数 (2) 開放延べ日数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) プール開放1日当たりの利用人数 (2)							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	8,930	10,664	計画	15,000	実績	11,340	15,000	75.6	
	活動指標(2)		日	263	252	計画	285	実績	275	285	96.5	
	成果指標(1)		人	34	42	計画	53	実績	41	53	77.4	
	成果指標(2)					計画		実績				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	22,353	21,407	計画	26,929	実績	23,827	26,295	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 開放施設は屋外であるため、天候により利用者数は変動する。	
	(内)投資的経費等		千円			計画		実績				
	(内)委託費		千円	18,290	17,347	計画	20,902	実績	19,281	20,696		
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.70	0.70	計画	0.70	実績	0.70	0.70		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,296	6,370	計画	6,342	実績	6,342		6,342
		非常勤職員分		千円	0	0	計画	0	実績	0		0
	総事業費 + +		千円	28,649	27,777	計画	33,271	実績	30,169	32,637		
	単位あたりコスト( - )÷		円	3,208	2,605	計画	2,218	実績	2,660	2,176		
	財源	受益者負担分		千円			計画		実績			
		国・都等からの支出金		千円			計画		実績			
特定財源計 +		千円	0	0	計画	0	実績	0	0			
差引:一般財源 -		千円	28,649	27,777	計画	33,271	実績	30,169	32,637			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	計画	0.0	実績	0.0	0.0			
17年度の主な取組み		内 容			規模	単位	事業費(千円)					
		プール開放運営委託費			1	式	19,281					
		維持管理費			1	式	2,058					
		備品購入			1	式	1,104					
		光熱水費			1	式	833					
その他		(建物管理費・保険料・通信費)					551					

# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	75.6	活動指標(2)の17年度達成率%	96.5	17年度予算執行率%	88.5
		開放を予定していたプール開放校が学校改修工事等で開放中止となったため。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		利用者にとって安全で快適に利用できるよう業者に指導した。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	向陽中学校のプール開放から始まったこの事業は18年度は20校で実施。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	夜間開放している阿佐谷中学校の利用者は多い。					
	今後の予測	天候等の影響を受けるが身近にある学校プールとしての役割は今後も大きい。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 学校施設であるプールは気軽に体力と健康増進が図れる施設となっている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 利用者にとって安全で気軽に利用できる施設であり、管理運営は利団協及び民間業者に委託し、実績を上げてきている。 理由または具体的内容:					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 学校施設の有効利用であり、主な利用者は児童でもあるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 業務は委託しているため。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題 民間業者と利団協への委託。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減      コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)      事業のあり方点検欄を踏まえて記入 利用者が快適で安全に利用できるよう継続して取り組む。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 利用者が安全で快適に利用していただけるよう、業者、利団協に対して指導を強めていく。						
	(1) 19年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし						
	(2) 理由 利用者にとって安全で快適に利用できるよう効率的に運営していく。						



# 平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		幼稚園園庭及びプール開放				整理番号	791		枝番号			
担当部課名		社会教育スポーツ課		コード	600702	連絡先電話番号	1665		昨年度整理番号	786		
係名					学校開放担当			上位施策名		No		
予算事業名					学校等開放		コード	81200		地域への学校開放	60	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 社会教育法第44,45,47,48条					
	区内在住の保護者同伴の幼児						(2) スポーツ振興法第13条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				各園2名の指導員を配置し、区立幼稚園のプールを開放する。		(3) 杉並区立学校の開放に関する規則					
活動指標名(式)				(1) 利用人員 (2) 開放述べ日数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 幼児が水に慣れる場としてプール開放をする。						
成果指標名(式)				(1) プール開放1日あたりの利用人数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	493	1,810	2,000	1,642	2,000	2,000	82.1		
	活動指標(2)		日	26	52	52	39	52	52	75.0		
	成果指標(1)		人	20	35	40	42	40	40	105.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	372	747	1,048	604	848	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10			0.10	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	899	910	906	906			906	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +		千円	1,271	1,657	1,954	1,510	1,754				
	単位あたりコスト( - )÷		円	2,578	915	977	920	877				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,271	1,657	1,954	1,510	1,754					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		プール開放指導員謝礼					78	人	284			
		光熱水費					3	園	195			
		維持管理費					1	式	107			
		指導員研修費					9	人	18			
		その他 ( )							0			

## 平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	82.1	活動指標(2)の17年度達成率%	75.0	17年度予算執行率%	57.6
工事による開放園減のため。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
開放できたプールが移転のため一園減になったため。						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	プールが設置されている幼稚園でプール開放を行ってきている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	身近に幼児が利用できるプールが少ないため、気軽に利用できる幼稚園プール開放への要望は高い。				
	今後の予測	毎年一定の利用者があり、保護者や幼児からの要望は減らないと思われる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 身近なプールとしての開放の役割は高い。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 現在の事業費で成果を挙げてきている。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 既存のプールの有効活用であり、また、徴収事務に要する経費を考慮すると利用料等の徴収は効率的ではない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 利用者の安全確保や施設開放の準備などのために、指導員を配置するなど、円滑な開放を効率的に行っている。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題: 指導員は幼稚園に推薦依頼し、謝礼を支払っている。また、清掃を含めた準備等は業者委託で処理している。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)   事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現行どおり進めていく。					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 引き続き指導員への研修を充実させ、安全で快適なプールが提供できるよう進めていく。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	引き続き現行予算の効率化を図りながら推進していく。				